

第1回全日本社会人バスケットボール選手権大会長野県予選 連絡事項

長野県社会人バスケットボール連盟 審判委員長 尾形美樹

① ゲームの最初に出場するプレーヤーの記入とコーチのサインについて

今年度からゲームの最初に出場するプレーヤーの記入はコーチが行うことになりました。
ゲーム中、指揮を取るコーチが必ずこれを行い、その後コーチ欄へサインをして下さい。
また、キャプテンをスコアラーに伝えて下さい。

② ゲーム中に立ち続けることについて

コーチあるいはA・コーチのうち1人だけが、ベンチ・エリア内で立ち続けることが認められています。
両者が同時に立ち続けることはテクニカル・ファウルの対象となります。
また、A・コーチは審判に対して話しかけることや、その他の働きかけをすることは認められません。

③ タイム・アウトの請求について

コーチまたはA・コーチが、チーム・ベンチ・エリアから出てオフィシャルズ・テーブルのところに行き、スコアラーに対して定められた合図を手ではっきりと示して請求して下さい。
「ショットが成功したらタイム・アウト」などという条件をつけての請求は出来ません。
キャンセルをする時も、直接スコアラーに対してはっきりと取り消しを伝えて下さい。
第4ピリオドの最後の2分間には、1チームがタイム・アウトを3回とることは出来ません。
3回残っていたとしても2回までしかとることは出来ません。

④ 交代の請求について

交代要員自身が、すぐにプレーできる用意をして、直接スコアラーに対して手で定められた交代の合図をして申し出るか、スコアラーに交代の申し出がはっきりと伝わるように交代席に座って下さい。
キャプテンがコートから退くときは、コーチは、コート上でキャプテンの役割をするプレーヤーの番号を審判に伝えて下さい。

⑤ コーチ、Aコーチ、マネージャー、交代要員のマナーについて

試合中はベンチに座っていて下さい。
ユニフォームは、審判に促されなくても自らパンツの中に入れるようにして下さい。
装飾品は一切身に付けしないで下さい。

⑥ 試合のスムーズな運営について

タイム・アウトは、50秒の合図で再開の準備、60秒後にはプレーを再開することになっています。
各ピリオドの始まりについても、速やかにベンチを出て試合が開始出来るようご協力下さい。

⑦ アン・スポーツマン・ライクファウルについて

ルール変更により、オフェンスが進行する中で、その進行を妨げることを目的としたディフェンスプレーヤーによる必要のない触れ合いと審判が判断したプレーについては、アン・スポーツマン・ライクファウルとなります。（時間を止めるため、速攻を妨げるために、わざと起こす必要のない触れ合い。）

⑧ アンダーシャツについて

昨年度までのクラブ選手権大会に許可されていたアンダーシャツ（ロンTやTシャツ等）については今大会より認められません。

ユニフォームについては2018バスケットボール競技規則の通りとします。

着用している場合は交代を認めることができませんのでご注意ください。